



かじかわ



教育目標: 豊かな知性を育て きびしく自己をきたえ 高め合う生徒

校訓: 明朗 闊達 質朴

新発田市立加治川中学校 令和4年7月29日 第4号

自分たちで体育祭を創り上げるために

現在、生徒たちは体育祭に向けて準備活動を行っています。私は、生徒たちに心をつなげて、素晴らしい体育祭を創り上げてもらいたいと思い、ある昔話を全校朝会で話しました。

むかしむかし、ある国の王様が町の人たちに、こう言いました。

「日頃、町のために一生懸命に働いているみんなに、ごちそうしたい。今度の日曜日の夜、私の城に集まりなさい。」

「城に来るときは、家にあるワインを1本ずつもってくること。」

「庭に大きな壺を置いておくので、そこに注ぎ入れておくこと。」

「みんなで持ち寄ったワインとおいしい料理で、おおいに楽しい夜にしよう！」

これを聞いた町の人たちは大喜びです。そして、お城に行く日を楽しみに待っていました。そして、待ちに待った日曜日。町の人たちが城の庭に集まると、豪華なごちそうが、所狭しと並べられていました。

庭の真ん中には、壺が並べられ、町の人たちは、自分の持ってきたワインを注ぎ入れました。宴会の始まりです。町の人たちは壺からワインをグラスに注ぎ、大きな声で乾杯しました。

「乾杯！」

しかし、ワインを口にしたら人々は、言葉を失いました。それは、ワインだと思って飲んだものは、ただの水だったからです。

では、なぜ、ワインが水に変わってしまったのでしょうか？

実は、町の人たちは、他の人たちもワインを持って来るだろうから、少くく水が混ざってもバレないだろうと思って、水を持ってきたのです。しかも、それが全員がです！

目標に向かって、みんなで協力しなければいけないとき、このお話のように、「自分一人ぐらい・・・。」と思ったとき、目標の達成は遠のきます。

皆さんには、自分一人ぐらい、頑張らなくてもいいやではなく、「**みんなのために、自分一人でもやれることを精一杯頑張ろう。**」と思って、体育祭に取り組んでもらいたいのです。

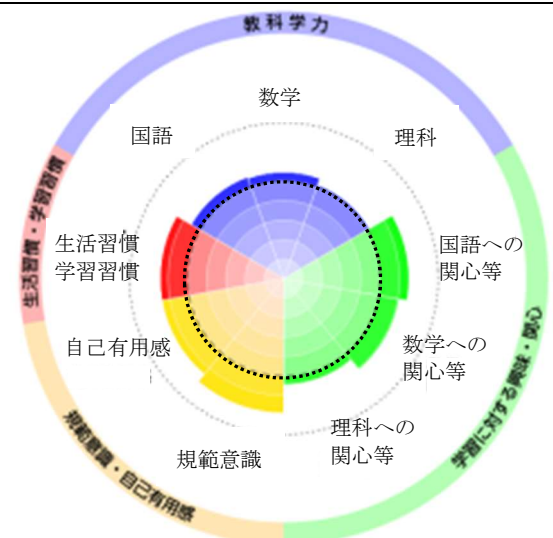
このことが周囲との信頼関係を生み、それが、自信につながり、自分のことがもっと好きになるはずですよ。誰か一人でも欠けたら、体育祭の感動は生まれません。ぜひ、頑張りましょう。

全国学力・状況調査結果から

4月19日(火)に全国の3年生を対象にした全国学力・状況調査(国語・数学・理科)が行われ、その結果が届きました。右図中心の点線円が全国平均の基準です。加治川中の平均正答率は、国語と数学が全国平均を上回り、理科は全国と同程度でした。

注目すべきは、教科学習の基盤となる**自己有用感**や**規範意識**など「**根っこ**」の部分がしっかりと育っていることです。これもご家庭と地域の皆様との連携・協力があるからこそその成果だと思えます。

これからも、加治川中生徒一人一人の人間力を大事に育むため、ご支援ご協力をお願いします。



体育祭全校ダンス練習

9/10 体育祭に向けた全校ダンスの練習風景です。当日は、連合軍の枠を越えて、加治川中学校が一つとなります。難しい振り付けに挑戦する生徒たちの姿が、とても頼もしいです。



県陸上競技大会

7月16日(土)、17日(日)、夏らしい日射しの中、県陸上競技大会が柏崎市陸上競技場で行われました。

県内の実力者が集まる中、加藤洋樹さん(走高跳)、永井叶翔さん(走高跳・四種競技)、中野絢葉さん(走高跳)、渡邊唯人さん(走幅跳)、碓井悠叶さん(110mH)の5名は、精一杯ベストを尽くしました。保護者の皆様、地域の皆様からのご支援、ご協力本当にありがとうございました。



文武両道で頑張っています！

7月23日、下越地区吹奏楽コンクールでは吹奏楽部は、「吹奏楽のための狂詩曲 九頭龍大神の伝説による」を演奏し、金賞に輝きました。

同日、わたしの主張「新発田市大会」では、学校代表である中野絢葉さんは「同調圧力を頼もしい味方に」を発表し、優秀賞を受賞しました。中野さんは8月19日(金)に開催される三市北蒲大会に出場します。

文武両道を目指す加治川中学校生徒たちの活躍が光っています。